

阿蘇中央病院の移転新築について

松永 勲



松永 中央病院の移転先が阿蘇中学校跡地に決定したが、今後のスケジュールはどうなるのか？

岩下中央病院事務局長 早速、基本計画に取りかかり、23年度に実施設計、24年度に工事着工、26年早々の開院を計画しています。

松永 病院の規模はどうなるのか？

中央病院事務局長 療養病床を廃止し、一般病床を120床、感染症病床を4床とし計124床とします。

松永 診療科目はどうなるか？

中央病院事務局長 内科、外科、循環器内科、小児科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、麻酔科、皮膚科の9科を考えています。

松永 開院後の医師の安定的、継続的な確保は大丈夫か？

中央病院事務局長 開院後についての医師の確保は、医師の派遣に関する寄附講座の延長も含め、県、熊大のほうに積極的にはたらきかけてまいります。

仙酔峡ロープウェイについて

松永 累積赤字 1億5千2百万円・借金残高 2億8千万円は、今日までの経営実績から見ると、検討委員会の答申通り清算を視野に経営から撤退するか、完全に民営化すべきと思うがどうか？

吉良商工観光課長 経営検討委員会の答申やこれまでの経緯を考慮しつつ、早急に方針をだしたいと思えます。

他に、「市長の公務出張について」質問がありました。



仙酔峡ロープウェイ

個人情報保護法に関する問題点 民生委員等、柔軟な情報提供を

古木 孝宏



ではどうか。

総務課長 個人情報保護条例の中に例外規定が設けてありますので、担当課と総務課で連絡を取り合い、情報を提供できるように今後対応していきます。

古木 個人情報保護条例が制定されて5年を経過したが、この法律に對して良い点（守られているもの）、悪い点（失われているもの）、いろいろな意見が出ています。行政においてもいろいろと効率化を図っているが、情報の共有とか、管理体制の違う横の連携において、条例のために効率的でない弊害がありはしないか。

佐藤総務課長 職員には条例に関する説明をしており、役所内で情報を利用する場合、届け出をして許可を受けなければ利用できません。

古木 民生委員の活動において支障は出ていないか。

城健康福祉課長 民生委員の活動上、個人世帯の情報が必要でありますが、法施行により情報が入りにくく活動に苦慮されているようです。

古木 民生委員の活動は個人情報を取扱う情報活動でもあり、住民一人一人との信頼関係の上で成り立っており、活動を円滑にするために情報提供を条例を改正してでも柔軟にし



民生委員会議風景

古木 民生委員は特別職の地方公務員でもあり、指定された利用目的に必要な範囲内においては情報を提供し、かつ、守秘義務もあるので、しっかりと指導して、住民にも周知していただきたい。

総務課長 様々な制約がある中で十分指導、周知していきます。

保育所の民営化計画案は、大幅に見直すか撤回すること



川端 忠義

健康福祉課長 アンケートの結果は見えておりませんので、お答えできません。

川端 保護者の8割が賛成していない民営化計画案は大幅に見直すか撤回すべきではないか。

健康福祉課長 計画案については見直す考えはありません。

川端 民営化計画案は、保護者や地域住民等の理解、納得、合意を得ていないが、市長はどう思うか。

市長 喜んで賛成する人はいないと思いますので、これからも真剣に丁寧に進めていくものだと思います。

城健康福祉課長 計画案に基づいて保護者や地区の方々に説明している段階であります。

川端 民営化スケジュールでは9月には議会報告としてあるが、民営化計画決定前に議会の意見を聞くのか。

健康福祉課長 9月に決定するということではなく、保護者説明会が終わった段階で議会の意見を聞くことにしています。

川端 民営化計画案の説明会後の保護者アンケート結果では、おおよそ賛成が2割、反対と分らないが8割である。この結果から民営化計画案は保護者の理解と納得を得ていないと思うが。



宮地保育園の園児

世界ジオパークに向けて



赤星 永幸

阿蘇中央病院の今後の取り組みは

赤星 世界ジオパーク申請が見送りになった理由の1つで受入態勢が不十分との事だが、他に細かい指摘はなかったのか。

井野企画振興課長 訪問客への対応が十分ではないと言う指摘でした。あるか市民の皆さんに分かり易く、説明出来るような体制づくりも必要と思われるが。

赤星 ジオパークそのものが何であるか市民の皆さんに分かり易く、説明出来るような体制づくりも必要と思われるが。

企画振興課長 まずハード面での取組み、そしてソフト面では、市民の皆さまを巻き込んで機運が盛り上がるよう図っていききたいと思っております。

赤星 世界遺産登録を視野に入れた世界ジオパークである。住民の方々への周知の方法は。

企画振興課長 今後、事務局を通して構成市町村、構成団体の方々と協議を重ねながら進めていきたいと思っております。



ジオパーク研修風景

赤星 阿蘇・竹田地域生活圏調査検討会（国交省の広域的生活圏のあり方を探る事業）で、九州では阿蘇・竹田だけが入っているが、医療機関として竹田市との連携は。又医療機関として国交省の高規格道路の必要性は。

岩下中央病院事務局長 現在話しは出ていますが、県境ですので具体的に詰めておりません。

伊藤建設課長 検討会の中でも救急医療の検討会をし、関係各課との連携を深めています。高規格道路は救急医療にとっても重要な道路と考えています。